

1. 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

長崎女子短期大学では、建学の精神（「鶴九阜に鳴きて声天に聞こゆ」）と教育目標（「尽心・創造・実践」）を踏まえて策定された、学修成果の到達目標及び卒業認定・学位授与の方針を達成するために、次の項目を入学者受け入れの方針とする。

		尽 心	創 造	実 践
全学共通		誠実な態度と人間力を身に付けるために、何事にも真面目で真剣に取り組み、他者を思いやる気持ちを忘れない者	高度な知性と創造力を身に付けるために、基礎学力と教養があり、真摯に学ぶ姿勢を維持することができる者	適切な行動と実践力を身に付けるために、強い意志と行動力、責任感があり、社会に貢献する志を持った者
<p>本学では、特に次のような志願者の入学を期待している。</p> <p>①高等学校までに修得すべき基礎学力を有し、本学進学後も意欲的に学業に取り組もうとする者</p> <p>②免許・資格等の取得に積極的に取り組み、卒業後は地域社会に貢献しようとする意欲のある者</p> <p>③部活動、資格取得、生徒会活動、ボランティア活動等において地道に努力した者</p> <p>なお、これらの活動等において実績を上げた者は、本学独自の奨学金・減免制度の選考において評価の対象とする。</p>				
生活創造学科	栄養士コース	他者を思いやる気持ちを持ち、何事にも誠実に取り組む意欲のある者	食に関する興味関心と、栄養士免許取得の基盤となる基礎学力があり、真摯な態度で学ぶ心を持つ者	長崎の食文化を学び、伝承し、情報発信力を身に付けて、社会貢献をしたいと願う者
	ビジネス・医療秘書コース	他者を思いやる気持ちを持ち、ホスピタリティマインドを理解することができる者	基礎学力と素養があり、ビジネスや観光・医療等の分野を学ぶ姿勢を維持できる者	ビジネスや観光・医療等の現場で、人の役に立ちたいという強い気持ちを持った者
幼児教育学科		保育者として誠実な人柄と人間力を身に付けるために、子どもや保護者を思いやる心を持ち、協働に向けた努力を惜しまない者	保育者としての高度な専門性と創造力を身に付けるための基礎学力と素養があり、保育について学ぶ姿勢を維持することができる者	保育者として地域社会に貢献する実践力を身に付ける努力を惜しまない者

2. 長崎女子短期大学入学者選抜の基本方針

1. 入学者選抜全体に共通する事項

- 入学者選抜は、高等学校等から提出された調査書等の資料、志願者から提出された志望理由書等の書類、面接及び小論文または学科試験等の結果を総合的に評価して行う。
- 学校推薦型選抜（指定校・一般）、総合型選抜及び一般選抜では、「学力の3要素」（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）を多面的・総合的に評価する。
- 全ての入試区分において面接（注）を実施する。これにより各学科・コースへの適性や目的意識、学生生活に対する意欲、コミュニケーションスキル等を評価する。
※注：学校推薦型選抜（指定校・一般）では口頭試問を、総合型選抜では自己アピール及び口頭試問を含む。
- 入試区分別の評価の観点及び評価割合は下表のとおりとする。

		誠実性 倫理観	知 識 技 能	数量的スキル 問題解決力	言語的スキル コミュニケーションスキル	主体性 協働性	資格取得 部活動等	評価 割合
学校推薦型選抜 （ 指 定 校 ）	調査書・推薦書	○	○			○	○	50%
	志望理由書	○			○	○	○	20%
	面接	○	○	○	○	○	○	30%
学校推薦型選抜 （ 一 般 ）	調査書・推薦書	○	○			○	○	30%
	志望理由書	○			○	○	○	20%
	面接	○	○	○	○	○	○	30%
	小論文		○	○	○			20%
一 般 選 抜 （ 1 期・2 期 ）	調査書	○	○			○	○	10%
	面接	○	○	○	○	○	○	30%
	学科試験等		○	○	○			60%
総 合 型 選 抜 （ 1 期・2 期・3 期 ）	調査書	○	○			○	○	30%
	活動報告書	○			○	○	○	20%
	面接	○	○	○	○	○	○	30%
	小論文		○	○	○			20%
社 会 人 選 抜	出願理由書	○			○	○	○	30%
	面接	○	○	○	○	○	○	70%

2. 学校推薦型選抜（指定校・一般）

- (1) 高等学校長から提出される推薦書には、志願者の学習歴を踏まえた「学力の3要素」に関する評価または学習状況に関する特記事項の記載を求めている。これにより口頭試問を含む面接と併せて、志願者の学力の状況を評価する。
- (2) 志願者には「志望理由書」の提出を求めている。これにより志望動機、出願までの各種活動や実績、入学後の学習への意欲等を評価する。
- (3) 学校推薦型選抜（一般）の志願者には、小論文を課す。これにより文章をまとめる力や表現力、社会の動きに対する意識等を評価する。

3. 一般選抜（1期・2期）

- (1) 一般選抜（1期）では、学科試験①として「国語」、学科試験②として「数学または英語」を課す。
 - ・国語は、古文・漢文を除く「国語総合」とし、一部記述式問題を含む。これにより語彙力、文章表現力、思考力等を評価する。
 - ・数学は、「数学Ⅰ」の範囲から出題する。
 - ・英語は、「コミュニケーション英語Ⅰ」の範囲から出題する。ただし、リスニングは含まない。
なお、英語を選択した者は、2021年度以降に受験した外部試験（TOEIC、実用英語技能検定等）のスコアを利用することができる。外部試験のスコアを利用する場合においても、本学で実施する「英語」の試験を受ける場合、下記換算得点と「英語」の試験での得点を比較して、高得点のものを合否判定に採用する。

【本学の英語試験（100点満点）への得点換算（例）】

換算点	外部試験	TOEIC	実用英語技能検定	TOEFL (iBT)
60点		350点～545点	準2級	—
80点		550点～715点	2級	42点～74点
100点		720点以上	準1級以上	75点以上

※外部試験のスコアを利用する場合は、該当する外部試験の結果がわかる合格証明書や公式認定証等の写しを出願時に同封すること。

- (2) 一般選抜（2期）では、「総合問題」を課す。具体的には、国語、公民、情報等の教科・科目で学習した内容を活用する総合的な記述式問題として出題する。例えば、公表されているデータを提示し、そのデータから読み取ることのできる事柄や問題点及びその解決策を提示させることにより、数量的スキル及び問題解決力、言語的スキル等を評価する。

4. 総合型選抜（1期・2期・3期）

- (1) 志願者には「活動報告書」の提出を求めている。これにより志願者が取り組んだ活動の内容、得られた成果等を、自己アピール及び口頭試問を含む面接と併せて評価する。
- (2) 面接は、志願者から提出された「活動報告書」をもとに行うが、志願者は自己アピールの場とすることができる。なお、自己アピールに必要な制作物等の持参も可とする。
- (3) 志願者には小論文を課す。これにより文章をまとめる力や表現力、社会の動きに対する意識等を評価する。

5. 社会人選抜

志願者には「出願理由書」の提出を求めている。これにより志望動機、出願までの各種活動や経歴、入学後の学習への意欲等を、面接とともに総合的に評価する。

6. 新型コロナウイルス感染症に関連して諸活動が中止等となったことへの対応について

このことについては、本学が提出を求めている推薦書、志望理由書、活動報告書等に志願者の諸活動等への取組状況等を具体的に記述していただくことにより、総合的に評価し、志願者が不利益を被ることがないように、十分に配慮した選抜を行うこととする。